

# いわさ民報

所行發  
社報民さわい  
番一八二話電地番一町田市平  
己克輝千人行設報編兼  
除を日隔月但刊日  
號十四部一四八月ヶ一 價定

## 市議資格申請 定員の倍六名に達す

さよう受付も締切らる

### 市議資格申請

日を追って活  
激化した平市

議の立候補資格申請は  
きょう七日締切られた  
が、届出者総数は正に  
六十四名で定員の倍一  
町内平均二名弱となつ  
てゐる、うち四町目、  
堤の内、北目、鐵官の  
四町は申請者が一名も  
みられないが、南町舊  
城跡の兩町は双方とも  
肩をならべて七名宛が  
亂立してあり各候補は  
はやくも宣傳戦を開始  
した、資格申請者左の  
とあり

（材木町）阿部傳六郎  
（染物石山一治）  
（鍛冶町）吉田常太郎  
（元）會社員、萩原義  
雄（三）醫師  
（南町）酒井保（三）醫  
師、小松茂（五）みそ  
しょうゆ販賣大泉信  
雄（五）こんにやく製  
造、木村淳（四）醫師  
川和徳（一）演劇、  
杉田松太郎（三）木工  
鈴木幸平（四）海産物  
（久保町）永山勇吉（五）  
酒類販賣  
（胡麻澤）花澤久一郎  
（六）薪炭販賣、蛭田  
清（四）建築請負  
（北白銀）大野友春（四）

（三）専務、吉村喜一  
（會社員）  
（仲間町）佐藤伊太郎  
（六）専務、大井川ミ  
子（三）無職、大島克  
己（三）社長  
（鎌田町）金成國雅（四）  
社長、總作造（四）  
機關區助役  
（立町）大塚駒太郎（五）  
四）食肉販賣  
（南白銀町）神谷兼次  
郎（五）社長、吉田喜  
代治（五）新聞販賣  
（才井小路）石山信雄  
（五）無職、上坂昇三  
（會社員）、永野孝夫  
（元）新聞販賣  
（城山）加藤正保（四）

（生）花販賣、野崎滿藏  
（六）社長、野崎喜八  
郎（五）専務、新妻熊  
男（五）地方教官、渡  
邊啓（四）新炭木材、  
金古政通（三）専務、  
渡邊龍夫（四）社長  
（八幡小路）渡邊久（四）  
醫師、柴田徳治（五）  
六）書籍販賣  
（月見町）佐藤源吉（金）  
社長  
（大町十五丁目）高木  
喬（四）代書  
（下平窪）鈴木勇（五）

農、長瀬源三郎（六）  
農、江尻忠平（四）農  
木田源宗（六）農  
（中平窪）松本金市郎  
（五）酒類醸造、福田  
長一郎（四）農  
（上平窪）永井誠（四）  
農、鈴木政一（四）農  
（中窪）關場益一（六）  
農  
（大窪、暮の内、鯉  
間）吉田義久（四）農  
（彌宜、正月町）齋藤  
角治（六）會社員、大  
内近雄（四）理事

## 油井賢太郎氏進出

### 濱通りへ各候補殺到

（紺屋町）水竹伊之助  
（原）酒類販賣、眞木  
垣（五）辯護士  
（田町）野澤武藏（四）  
社長、蓮沼龍輔（五）  
社長、森本勝治（五）  
支店長  
（一町目）坂井清之助  
（元）税務計理士  
（二町目）鈴木庫在右  
（三）水販賣  
（三丁目）三森虎雄（五）  
七）不動産販賣  
（五丁目）馬目武之助  
（毛）染物  
（新川町）柏原秀藏（五）  
四）會社員、岡井一美  
心（四）理事、諸橋正次  
（五）會社員、

知事、市町村長の選挙は福島市産業経済界の  
が終了して次は来る二重鎮であり少壮政治家  
十日参議院議員の選挙としての手腕力量も既  
が施行されるが、濱通りに認められてゐる人物  
りからは立候補者は一だに多大の注目を惹  
人もないので案外閑散  
（元）四月十一日平市世  
界館、四倉町街頭、  
草野村街頭  
同十二日湯本町、  
小名濱町、江名町、  
各街頭  
なお應援士は盛岡高  
等農林学校校長西澤  
喜洋、福島商工會議  
所専務本多長兵衛、福  
島鐵工組合理事長紺野  
良吉の諸氏である

## 強権發動決る

### 平署遂に寶刀を抜く

平署では供米を阻害する松竹作品、高田浩  
る悪農に強権を發動す吉、柳家金語楼等主演  
ることに決定、對照の忍術千一夜は幣中主  
決めた、管内では小川村の業、泉村出身の瀧内康  
横川國井幸平（四）ほか、みをもたれ人気が呼ん  
三名となつてゐたが、市郡民から深い親し  
川前村某村長候補  
同村の三名は強権發動  
におそれなれ六日か  
らしくも劇當必達を確約  
したため前記國井一名  
となつた、國井は水田  
五反二畝を耕作、八俵の  
供米を割當られたが、  
まだ一粒も出さず村當  
局でも手を焼いてゐる  
ものである

## 瀧内君の

### 作品

八日から平館で上映さ  
る瀧内君の  
忍術千一夜  
八日一十日まで  
踊子物語  
十一日から四日間  
平館

## 開店御披露

### 住吉屋

強権發動により承らぐ休業中でしたが此度開前の御披露  
所に、食事と喫茶の店を、新築いた  
し七日から開業致しました  
是非皆様の御来店を  
お待ちしております  
平 驛前（電一四九）

## 求店舗向貸家

### 住吉屋

平市なら裏通りでも可  
権利金も出します  
姓名在社

### 地方確定有権者數

地方議會議員の平市および石城郡の有権者數は五日現在の調査によると

▲石城郡十三萬七千七百七名(男六萬三千六百三十八名、女六萬六千九百六十二名)

▲平市一萬五千八百四十四名(男七千三百四十六名、女八千四百九十八名)

合計十四萬六千四百四十四名に達している

各町村別有権者數は左のごとく女が四千四百余名の増となつてゐる

町村名	總數	男	女
泉村	三〇〇	一四九	一五一
渡邊村	二〇〇	一〇〇	一〇〇
植田町	一〇〇	五〇	五〇
山田村	一〇〇	五〇	五〇
錦町	一〇〇	五〇	五〇
勿來町	一〇〇	五〇	五〇
上遠野村	一〇〇	五〇	五〇
入遠野村	一〇〇	五〇	五〇
川部村	一〇〇	五〇	五〇
田人村	一〇〇	五〇	五〇
飯野村	一〇〇	五〇	五〇

夏井村	一七〇
高久村	一六〇
豐間町	一五〇
江名町	一四〇
鹿島村	一三〇
小名濱町	一二〇
磐崎村	一一〇
湯本町	一〇〇
内郷町	九〇
好間村	八〇
赤井村	七〇
水戸村	六〇
箕輪村	五〇
澤渡村	四〇
三阪村	三〇
神谷村	二〇
草野村	一〇
大浦村	一〇
四倉町	一〇
大野村	一〇
上小川組合	一〇
下小川組合	一〇
川前村	一〇
平市	一〇
計	一四、六四四

### 殊動に輝く常磐炭田

二十一年度も見事に黒字を出超實に十三萬二千余トン

九州北海道尻目に

三月の出炭もは全炭田の七割を生み援に乗り出す等の努力見事出超に漕出す常磐、大日本勿來が大きく見逃し得ぬ花ぎつけたが、古河好間の三大主力炭と咲いてゐる結果である

これに依り常磐炭田の出炭成績や事務系統職員まで應

二十一年度の出炭成績は割當目標二百四十二萬七千トンに對し二百五十五萬九千四百六十

四トンの實績に完全に目標を完遂したばかりか實に十三萬二千四百六十四トン大きな黒字を示して北海道、九州を尻目に堂々常磐炭田の意氣高かに凱歌を奏した、この好果は労働協約の締結食事情の緩和賃金問題の安定もや見透しがつきはじめた上に一般に労資共に石炭の重要性を確認、勤勞意欲の昂揚をみたすに依るが、その際

### 見事有終の美を

終戦以來最高の記録

常磐炭田三月一ヶ月間常磐炭田が日本勿來の出炭成績は東部管内と共に見逃し得ぬ大出超(茨城)が目標六萬六千を示したため目標十七トンに對し、六萬三千五百五十九トンに對し、十八萬三千三百三十九トンに對し、二萬七千五百三十九トンの赤字と大きく一萬二千五百を押し受けたが、三十九トンの黒字を東北管内が資材面の不けた結果東部の赤字足から主力古河好間を補つて全炭田では目標はじめに日曹福島、標二四萬一千トンに戸部、三和、田川等の對し二十五萬六千六百六十トンの出超という終戦以來の最高記録とい

### 主力炭の底力

東北各炭田の出炭成績調べ

東北管内各炭田の出炭成績は左の通り(カッコ内は減)

常磐湯本	三八、八〇〇
全内郷	七、三〇〇
全磐崎	三、〇〇〇
全好間	四、五〇〇
全赤井	二、〇〇〇
全水戸	一、〇〇〇
全箕輪	一、〇〇〇
全澤渡	一、〇〇〇
全三阪	一、〇〇〇
全神谷	一、〇〇〇
全草野	一、〇〇〇
全大浦	一、〇〇〇
全四倉	一、〇〇〇
全大野	一、〇〇〇
全上小川	一、〇〇〇
全下小川	一、〇〇〇
全川前	一、〇〇〇
全平	一、〇〇〇

### 工員採用

各若干名

### 平製靴工場

標準靴製作(未経験者可)

商工省指定重點工場

平市三丁目二(電四四六)

### 急募

#### 女事務員

一、高女卒 一名 二十一、三歳

一、高小卒 一名 十六歳一十八歳

健康にして志操堅固事務に経験ある者至急面談のこと

平市仲町一四番地(市役所前)

大和炭鑛平事務所

鑛主 鈴木傳明